

## 基本的な考え方

当社は、取締役会の実効性を高めることを目的に取締役会の実効性評価を実施しています。評価にあたっては、取締役及び監査役全員を対象に、取締役会の構成、運営及び議題への評価・分析並びに自由回答欄において課題を確認するアンケート調査（全18問）を行い、取締役会事務局にて集計及び分析を行い、当該結果に基づく課題や改善点について取締役会において議論しております。

## 2022年3月期に関する実施結果

2022年3月期における当社取締役会においては、結果としては当社の取締役会は十分に実効性を発揮していると評価することができました。詳細といたしましては、取締役会向け資料の拡充や取締役会での発言のしやすさに関しまして評価が向上いたしましたが、全体的な評点で見ると継続して実効性向上に向けた取組みを行っていく必要がございます。特に改善が必要な事項といたしましては、取締役が取締役会に対して多様な観点から充実した意見を述べることができる状況を構築するために継続して対応を行っていく所存です。

## 前回の取締役会実効性評価（2021年3月期）を踏まえた改善

| 前回の課題                                 | 改善内容   |
|---------------------------------------|--|
| 女性役員の増員を含めた取締役会の多様性確保は、引続き検討する必要があること | 多様性を確保するために新たに社外取締役を選任し、スキルマトリックスを準備する等多様性の拡大を目指す。継続して検討が必要となる |
| 社外役員が議事を理解しやすいよう、事前説明資料の掲載を早期化すること    | 社外役員に対して事前の情報提供を務めているが、引き続き提供情報の早期化等を検討する                      |